

特集：「国際粉体工業展東京2008を終えて」

## 国際粉体工業展東京 2008 を終えて

Review of 'POWTEX TOKYO 2008'

東京粉体工業展委員会 谷本 友秀  
Tomohide TANIMOTO

### はじめに

急激な世界同時不況が始まる前に、出展募集を終了し出展キャンセルも無く展示会を実施できた。出展各社は展示会の成果を出すために大変意欲的に取り組んでいることを肌で感じる展示会になった。今回の開催テーマは前回と同じ「この一粒……夢をかたちにー粉の技術ー」とし、多くの後援、協賛団体のもとに10月28日から31日の4日間幕張メッセ1、2、3ホールにて開催された。粉および粉を作る技術が産業界の夢の実現に貢献することを願いました出展会社には多くの商談が生まれ、来場者には有用な粉体技術情報を得られる展示会をめざし企画した。今回は機器展示に加え、最新情報としてナノパーティクルテクノロジーと環境エネルギーの特別展示ゾーンを設け、展示と展示会場でのプレゼン発表と講師によるフォーラムを設けた。併催行事として特別講演、セミナー、フォーラム、製品説明会、粉の広場でのニーズ・シーズの出会いまた同時開催としてはインドに焦点を当てたアジアフォーラム、粉体工学会秋期研究発表会など多くの企画を実施した。

#### 〔開催概要〕

出展者数は262社、出展規模は943小間となり、出展小間数では前回より50小間多くなった。入場者数は今回から会場入り口で延べ来場者をカウントし、天候にも恵まれ全体として多くの来場者を迎えることができた。

1日目 (10月28日) 晴れ	8,684名
2日目 (10月29日) 晴れ	9,539名
3日目 (10月30日) 晴れ	10,793名
4日目 (10月31日) 晴れ	11,544名
合計	40,560名

### 1. オープニングセレモニー

展示会初日の午前9時40分から、総合受付前に

て関係者約150名の列席のもと開催された。最初に主催者である(社)日本粉体工業技術協会江見会長の挨拶に続き、経済産業省製造産業局産業機械課課長補佐 是永基樹様から来賓祝辞をいただいた。その後江見会長、是永基樹様、日高粉体工学会会長、(社)日本粉体工業技術協会真鍋副会長、大川原副会長、山田副会長、東京粉体工業展委員長によりテープカットが行われ4日間の展示会の幕がきられた(写真-1)。



写真-1 オープニングセレモニー

### 2. 開催記念レセプション

初日の17時30分から国際会議場2Fコンベンション



写真-2 開催記念レセプション

ンホールにおいて、約300名の出席のもとに開催された。江見会長の挨拶、(社)化学工学会戸澤事務局長よりの祝辞、(社)日本粉体工業技術協会海外交流委員会辻委員長より中国、インド、タイからの来賓紹介、その後日高粉体工学会会長の乾杯でパーティが始まった。参加者の歓談、飲食の後に東京粉体工業展委員長の展示会の成功を願う中締めで盛会内に終了した(写真-2)。

### 3. 特別講演

初日の15時30分から16時まで東京大学 小宮山宏総長による「知識の構造化」の演題で特別講演が行われた。会場が満席に近い約200名が参加し、ナノテク、環境省エネ、国際競争力の強化などについて幅広い視野のもとに示唆に富んだ講演をいただいた(写真-3)。



写真-3 特別講演 小宮山東大総長

### 4. 最新情報フォーラム

最新情報フォーラムは次の3つのテーマで実施し、いずれも満席に近い状態で大変好評であった。

#### ・環境・エネルギー最新情報

日時：10月28日 10:30~12:30

場所：国際会議場 2F 201会議室

参加者：113名

講演1：「資源リサイクルと粉体技術」

北海道大学大学院工学科 教授

恒川 昌美氏

講演2：「地球環境と京都メカニズムの活用」

工学院大学大学院 非常勤講師

田森 行男氏

#### ・ナノパーティクル最新情報

日時：10月29日 10:30~12:30

場所：国際会議場 2F 201会議室

参加者：127名

講演1：「粉屋から見たナノ粒子のリスクとその評価」  
(独)産業技術総合研究所、環境管理  
技術研究部 リーダー

遠藤 茂寿氏

講演2：「超臨界水熱合成法による有機無機ハイブリッドナノ粒子創生」

大阪大学接合科学研究所、準教授

大原 智氏

#### ・粒子径測定法の最新規格と製品

ーマイクロメートルからナノメートルまでの測定ー

日時：10月30日 10:00~13:00

場所：国際会議場 3F 301会議室

参加者：133名

プログラム：

開会の辞 (社)日本粉体工業技術協会  
規格委員会 委員長

内海 良治氏

基調講演 「ISO/TC24の動向とJIS規格」

ISO対応委員会委員長

京都大学名誉教授

増田 弘昭氏

規格解説講演

・「画像解析法」

金沢大学教授 大谷 吉生氏

・「レーザー回折法による粒子径測定法」

(独)産業技術総合研究所 遠藤 茂寿氏

・「動的光散乱法と電気的検知帯法」

同志社大学教授 森 康維氏

・比表面積測定と粒子の細孔径分布の測定

宇都宮大学大学院教授 鈴木 昇氏

・沈降法の原理と標準粒子の動向

広島大学大学院教授 吉田 英人氏

関連する各社製品の紹介発表が14件あった。

### 5. 粉塵爆発セミナー

毎回好評なセミナーで今回も定員を超える参加者がありました。

企画：(社)日本粉体工業技術協会  
粉塵爆発委員会

日時：10月30日 13:30~16:40

会場：国際会議場 3F 301会議室

参加者：147名

プログラム：

・開会挨拶 粉塵爆発委員会委員長  
東京大学大学院教授

土橋 律氏

・「危険な静電気放電-火花放電の着火性と

コーン放電による貯槽の事故」

東北大学名誉教授 榎本 兵治氏  
・「静電気による粉塵爆発事故事例—原因と対策」  
(独)労働安全衛生研究所

電気安全研究グループ 山隅 瑞樹氏  
・「静電気対策の選択と維持管理について」  
(株)環境衛生研究所 都田 Lab

・総合討論

粉塵爆発委員会委員長  
東京大学大学院教授 土橋 律氏  
粉塵爆発委員会副委員長  
東北大学名誉教授 榎本 兵治氏  
島村 英生氏

## 6. 製品技術説明会

開催期間の4日間11時から16時まで展示会場内のA、Bルームで開催され、54セッションで各社の製品技術紹介が行われ4日間で延べ1,976名の参加をいただいた。

## 7. 粉の広場 ニーズ・シーズの出会い

シーズ提供は大学・研究機関からの27件と若手研究者表彰対象15件、計42件があり、ニーズは



写真-4 粉の広場 ニーズ・シーズ講演



写真-5 粉の広場 ニーズ・シーズパネル

(社)日本粉体工業技術協会の19分科会より提供いただいた。展示期間の4日間シーズの42パネルとニーズの19パネルを粉の広場に展示し多くの来場者に興味を持っていただいた。小冊子を作成し10月29日10:30~14:00に展示会場内、粉の広場にてニーズ・シーズの口頭発表と情報交換会を行い、発表者を含め150名近い参加者があり、盛り上がりのある交流が出来た。同時に若手研究者の成果発表の審査が行われ次の3名が受賞された(写真-4、写真-5)。

優秀研究賞

同志社大学理工学部 先端科学技術センター  
三尾 浩氏

研究奨励賞

(財)電力中央研究所 エネルギー技術研究所  
神田 英輝氏

研究奨励賞

東京大学工学系研究科 システム創成学専攻  
酒井 幹夫氏

## 同時開催行事

### 1. アジアフォーラム—インドの社会と経済—

前回は東アジアから5名の講師を招き講演をいただいたが、今回はインドに焦点を当て、インドから2名とインドに造詣が深い日本の3名の講師による講演会が行なわれた。この企画は当協会の海外交流委員会が企画・実行をし、141名の参加者があり盛況であった(写真-6)。詳細は後述の森康維海外交流副委員長の報告を参照下さい。

### 2. 粉体工学会 秋期研究発表会

展示会の3、4日目の30、31日の2日間展示会場に併設された国際会議場で開催された。参加者は延べ201人であった。

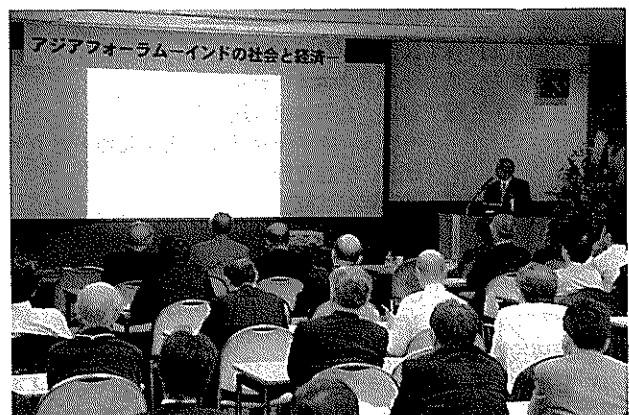


写真-6 アジアフォーラム

### 3. 学生交流会

協会の人材育成委員会の企画・実行で、展示会4日目の31日の10:00~13:30に開催された。本年度採用、次年度採用予定の若手社員、東京近在の学生諸子が参加し、先生方の引率のもと展示会の見学と交流会を実施した。全体で79名が参加し、各社製品の説明紹介その後の交流会での意見交流など内容が充実していた。参加者の皆様も満足の様子であった。

### 4. 技術相談コーナー

展示会期間の4日間12人の先生方による技術相談を実施しました。相談件数は74件であった。

### おわりに

今年は景気後退局面にある状況下の開催で、当初は出展小間の減少も考えられたが、前回は上回る展示会となった。展示会への来場促進と多くの情報を発信したいとの思いを込め多くの併催行事、同時開催行事を企画した。定員に達するか不安であったが、結果的には多くの方に参加いただき一部では会場に入りきれない盛況の企画もあった。入場者のカウント方法の変更による混乱があったことはお詫びさせていただくが、今後の展示会の比較となる基礎数値が確定したことと、多くの出展会社から前回よりブース来場者が増加したとの話も伺い、ひと安心している(写真-7、写真-8)。

最後にこの展示会にご協力をいただいた、実行委員会、協会関係者またその他関係者の皆様のご協力により国際粉体工業展東京2008が無事成功裡に終了したことに、厚く感謝申し上げます。

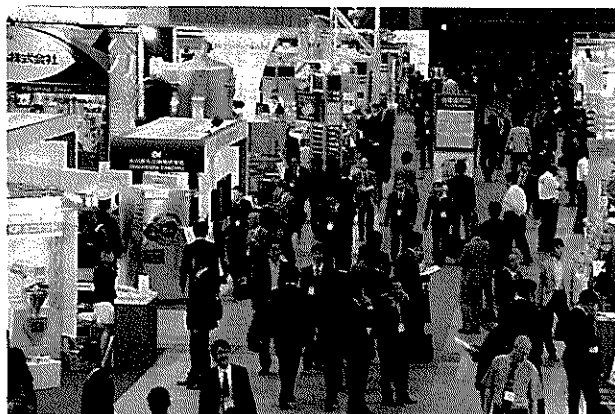
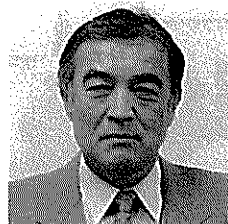


写真-7 展示会場



写真-8 展示会場入口受け



たにもと ともひで  
谷本 友秀  
株式会社徳寿工作所 代表取締役社長  
(社)日本粉体工業技術協会  
東京粉体工業展委員会 委員長

〒254-0074 神奈川県平塚市大原3-19  
TEL: 0463-32-1840 FAX: 0463-33-5118  
E-mail: t.tanimoto@tokujuk.co.jp